

高知県東部のまんなか観光マガジン

四国一小さくて魅力がぎゅっとつまつたまち



高知県田野町

四国一小さくて、魅力がぎゅっとつまつたまち、田野町へようこそ

県都高知市から東へ約55km。奈半利川西岸河口に位置し、南は、上佐湾に面し、東西2.2km、南北4km、総面積は6・53km²。四国で一番小さな田園の町が田野町です。気候は温暖で、ほとんど降雪はない、澄んだ空と緑の自然環境に恵まれています。

この町は藩政時代より田野五人衆（米屋、福吉屋、葛屋、常盤屋、虎屋）と呼ばれる藩の御用商人が、奥地の山林資源の開発などで富を持ち、町に繁栄をもたらせました。また、幕末には安芸郡奉行所が設置されるとともに、藩校田野学館が併設されて、安芸郡における政治・経済・文化の中心地として栄えました。そして、山と川と海の距離が近く、自然が豊かです。歴史と自然に囲まれた暮らしのなかで、人々は優しさや誇りを育んできました。

ライオン宰相「濱口雄幸」、幕末の志士「清岡道之助」など、偉人たちの史跡や文化が息づく町、山・川・海など自然が豊かな町、暮らしている人たちの温かさ。四国一小さい田野町は、四国一魅力ある“まち”です。そんな田野にふれてみませんか。





TAN

ボクは藩政時代に殉節した維新の志士、「二十三士」をモデルにしてつくれたんだ。ここ田野町には、二十三士公園や福田寺など、二十三士ゆかりの地がたくさんあるよ。そしてボクが大好きな田野町の歴史や文化、自然、体験メニューなど、「この町の楽しみ方」を案内します。この観光マガジンを見て、大勢の方に来てほしいな。

田野町のパンフレットを案内するのは
土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線のキャラクター
「田野いしん君」。



©やなせたかし



02 田野へようこそ

04 ナビゲーター・田野いしん君とコンテンツ

06 まちなか史跡巡り

岡御殿 濱口雄幸旧邸 長法寺と紅梅(臥竜梅)

08 二十三士ゆかりの地

二十三士公園 福田寺
清岡道之助旧邸 郡奉行所・田野学館跡

10 田野の偉人たち

濱口雄幸 清岡道之助と妻の静、家族たち

12 自然と歴史を生かした体験メニュー

天日塩づくり体験 大野台地農業体験
岡御殿文化体験 田野まちあるきガイド
だるま夕陽撮影

14 田野駅屋の魅力

田野駅屋ストーリー、観光コーナーほか

16 魚梁瀬森林鉄道と周辺観光地

田野町と魚梁瀬森林鉄道 中芸地域の観光地

18 インフォメーション

田野町のイベントとまつり、アクセス情報ほか

田野の奥深い歴史に誘われ

まちなか史跡巡り



ライオン宰相に人生を学ぶ

田|野|の|歴|史|

おさち 濱口雄幸 旧邸

田野駅から約1,200m

田野町の濱口家の長女夏子と結婚、養子となつた濱口雄幸は、政治家の道を進み、昭和4年に高知県初の内閣総理大臣となりました。その風貌から「ライオン宰相」と呼ばれ大衆に親しまれました。邸の前には雄幸直筆の碑と胸像が建ち、町指定文化財になっています。

安芸郡田野町378
☎0887・38・2511(田野町教育委員会)
開／自由 休／無休 料／無料 駐／有



早春に咲く美しい臥竜梅

田|野|の|歴|史|

長法寺 と紅梅

田野駅から約420m

長法寺の境内には樹齢300年を越える紅梅(臥竜梅)があり、町指定文化財に指定されています。この臥竜梅はその名の通り、まるで竜が地をはうように枝が伸びており、2月下旬から3月上旬の開花時期は、美しい花とともに見事な眺めです。

安芸郡田野町1894-1
☎0887・38・2511(田野町教育委員会)
開／自由 休／無休 料／無料 駐／有



県指定
文化財

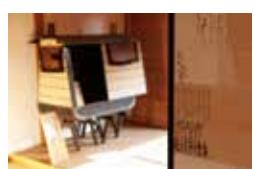
藩主が本陣として使用した岡御殿。第一展示室から第三展示室があり、岡家と土佐藩の関わり、建築的特徴や参勤交代の様子、岡家に代々伝わる貴重な品々を展示しています。また、岡御殿を間近にひかえた一画に旧岡家住宅(西の岡)があり、規模・意匠ともに上層商家の格式を伝える貴重な文化遺産。こちらは入館料無料。

田|野|の|歴|史|

岡御殿

田野駅から約600m

安芸郡田野町2147-1 ☎0887・38・3385
開／9:00～16:30
休／火曜(祝祭日の場合は翌日)、年末年始
料／大人300円(200円)、中高生200円(100円)
*()内は団体20名以上の料金
駐／有(町役場、ふれあいセンター)



藩政時代に栄えた田野を今に伝える

江戸時代、田野町は田野五人衆と呼ばれる豪商たちが軒を連ね、商業や文化における中芸地区の中心地でした。天保15年(1844)、田野浦でも随一の豪商と称された岡家(米屋)により建てられたのが岡御殿です。藩主が藩内の様子を知るために行う巡視は、その土地の有力者の家を宿として利用することが多かつたといいます。岡家は材木業や質屋業、回船業などで名を馳せ、藩が要請した多額の御用金にも対応。そんな功績が認められ、藩主が東部巡視する際は、ここを本陣として利用していました。実際に12代藩主 豊資や13代藩主・豊熙がここで宿泊し、家主から聞いた話を藩政の参考にしていたといわれています。

建築に関しては、格式高い書院造が特徴で、昭和60年に県指定文化財になりました。御殿の室内は各部屋が襖で仕切れ、用途に応じて襖を開閉し、スペースを使い分けていました。襖に描かれた絵、障子から覗く中庭の美しさを含め、芸術性と実用性を兼ね備えた空間です。

田野の奥深い歴史に誘われ
まちなか史跡巡り

志士ゆかりの地を憩いの場に

藩が土佐勤王党を弾圧するため

党首・武市瑞山(半平太)ら中心人物を投獄。それをうけ同志らが「助け出そう」と声をあげましたが、結局は誰も行動に移らず、唯一決起したのが県東部の清岡道之助を中心とする二十三士で、東は佐喜浜(室戸市)、西は馬上(芸西村)と広い地域から集まつた彼らは、年齢も非常に若く16歳の者も2名含まれていました。

幕末、激動の時代。全国的には坂本龍馬や中岡慎太郎といった志士が有名ですが、草莽の存在であっても国を想い歴史を紡いでいた「二

十三士」の若者たちがいました。そして町内には二十三士の名前をいれた場所がいくつもあり、その中のひとつが「二十三士公園」です。国道

55号、奈半利川西岸にあります。「これは二十三士の殉節の地であります。ここは地域住民の憩いの場となり、現在は地域住民の憩いの場として、春の桜をはじめ季節の花々が咲き、多くの人が訪れる場となっています。また周辺には公園や温泉施設もあります。

田野町出身の内閣総理大臣・濱口雄幸の書が刻まれた殉節碑は、町の青年団により昭和5年、建立されました。



二十三士公園

田野駅から約1,000m



撮影／公文正昭氏
安芸郡田野町中川原
☎0887・38・2511(田野町教育委員会)



福田寺

(二十三士の墓)

田野駅から約600m

清岡道之助旧邸

田野の歴史

郡奉行所・田野学館跡

(中芸高校)

田野駅から約1,000m

今も土佐の若者を育む場所

現在、県立中芸高校となっているこの場所に、嘉永6年(1853)土佐藩は安芸郡奉行所を設立。翌年には藩校田野学館も併設され、安芸郡の政治・教育の総本山だったといわれています。清岡道之助や中岡慎太郎など、数多くの人材を輩出し、武市瑞山(半平太)も一時、剣術を指導しました。

安芸郡田野町1203-4
☎0887・38・2511(田野町教育委員会)
開／自由(但し、中芸高等学校事務室にて
声をかけてください)

志士の凛とした生き方を感じる

二十三士公園から北の山手にある二十三士の首領・清岡道之助の遺言により、清岡家の菩提寺である福田寺に二十三士の遺体が埋葬されました。墓前にある、道之助の妻が夫を偲んで詠んだ歌碑を眺め、真っ直ぐな心で日本の行く末を思った若き志士たちに思いを馳せてみませんか。

安芸郡田野町839
☎0887・38・2511(田野町教育委員会)
開／自由(但し、中芸高等学校事務室にて
声をかけてください)
料／無料 駐／有
※休館中

幕末を駆けた志士たちが眠る

二十三士の首領・清岡道之助と、元老院技官を勤めた弟・公張の生家。昭和48年、町の指定文化財として保存。郷土らしい質実剛健な家の造り、写真・パネルの展示を通して、道之助の人となりが見えてくる、志士の凛とした生き方を感じる場所です。

安芸郡田野町4577
☎0887・38・2511(田野町教育委員会)
開／自由(但し、中芸高等学校事務室にて
声をかけてください)
料／無料 駐／有
※休館中



町指定
文化財



町指定
文化財

日本に、高知に、大きな影響をあたえた

田野の偉人たち



おさち
濱口雄幸

不屈の信念をもつて
日本を舵取りした
高知県初の内閣総理大臣



1870年(明治3)、土佐國長岡郡五台山(現高知市)で山林官を當む水口胤平の三人兄弟の末子として雄幸は生まれました。父は仕事のため留守が多く、16歳年上の兄・8歳年上の兄・祖母・母の訓育を受けて育ちます。

小学校・中学校と成績抜群で過りましたが、第三高等中学校に在学中、1889年(明治22)に安芸郡田野村(現田野町)濱口義立の長女夏子と結婚し、濱口家の養嗣子となりました。その後も勉学への道を進み、卒業し大蔵省に入ります。

その後、専売局長官、通信次官、大蔵次官などを務め、1915年(大正4)に立憲同志会に入党、衆議院議員に当選して代議士となりました。野党時代が長く続きましたが、加藤高明内閣の大蔵大臣、第1次若槻内閣の内務大臣などを務め、張作霖爆殺事件の責で総辞職した田中義一内閣の

1833年、安芸郡田野村(現田野町)で二人兄弟の長男として、清岡道之助は生まれました。彼は左目を幼少の頃からわざらい、青年の頃には完全に失明。その姿から“土佐の独眼竜”とも呼ばれます。



道之助は宮地太仲、高松順蔵、岡本寧浦らに学び、やがて江戸で陽明学、兵法等を研究。この頃、長州藩の久坂玄瑞の衣笠流があつたと言われ、幕末の激動の時代に想いを募らせ始めるのです。

当時の土佐藩は尊王思想が広がりを見せ、武市瑞山(半平太)を中心とする土佐勤王党へ加盟した人数は約200名ほど伝えられ、この頃、道之助は武市との会談をきっかけに、共に道を歩むことを決心しました。一方で公武合体論をすすめる動きがあり、やがて尊王思想と公武合体論との対立関係ができあがり、藩は土佐勤王党を弾圧するため武市ら中心人物を投獄。“これをうけ、勤王党志士達の中から「助け出そう」との声があがり始めます。そんななか、武市救出について志士代表による協議は開かれますが、唯一決起したのが清岡道之助です。

1864年、彼らは阿波へ渡り外力によつて武市を救出する予定でし

たが、阿波国内で捕縛され、奉行所のある牟岐まで移されます。そこで約1ヶ月間寺院や民家に拘留後、土佐に引き渡されます。その後、一度の取り調べもないまま翌日処刑は執行されました。

その後、道之助の首は3日間高知城下鏡川にさらされた後、田野へ戻ってきました。妻の静が私財を投じて建立した墓(福田寺内)で、その想いは眠っています。

田中義一(通称: 静)は1844年、安芸郡田野村(現田野町)生まれ。高知県初の総理大臣、濱口雄幸の妻、夏子とは叔母と姪の関係になります。当時、田野でも有名なほど美しい女性であり、芯が強く心優しい人物で、清岡家を支えました。

道之助の弟、半四郎(後の公張たかとも)は、道之助と同じく若い頃には藩外で遊学しています。その後藩命により三条実美の衛士として彼に追従。明治維新後は枢密顧問官といった役職を任せられるなど、日本創生に関わりました。

道之助が亡くなった當時、2歳だった息子、邦之助は母の静、叔父公張の支援で、慶應義塾大学を卒業しています。その後海外留学を経た後、福沢諭吉の娘と結婚し、会社役員等を務め、政界へ名を残すことになりました。

後に内閣総理大臣に就任(任期: 1929年7月～1931年4月)。

財界からの信任のある井上準之助前日本銀行総裁を蔵相に起用し、おりから世界恐慌の打開策として金解禁と、軍部や枢密院の圧力をほねのけ重縮を断行し、ロンドン海軍軍縮条約を結びました。しかし、右翼青年の凶弾に東京駅で倒れます。1931年(昭和6)死去。位階は正一位。勲等は勲一等。号は空谷。

官僚出身でありながら、その風貌から“ファイン宰相”と呼ばれ、強烈な存在感を持ちつつ、大衆に親しまれました。清廉潔白透徹した政治理念、不屈の信念の政治家でした。日本

の首相で初めて、当時最新のメデイアだったラジオを通じて、国民党に直接自身の政策を訴えています。

日本を代表する経済小説作家、城山三郎が『男子の本懐』(新潮社)で、濱口雄幸と井上準之助の生き方を描いています。

清岡道之助と妻の静、家族たち

草莽といわれる二十三士のリーダーとして、国を想い、歴史を紡いでいった

1833年、彼らは阿波へ渡り外力によつて武市を救出する予定でし

て志士代表による協議は開かれますが、唯一決起したのが清岡道之助です。

1864年、彼らは阿波へ渡り外

力によつて武市を救出する予定でし

自然と歴史に恵まれた
町の豊かさを

「体験」で 堪能する



【田】野の【体】験

【田】野の【体】験

大野台地農業体験

田野駅から約2,300m



キラリと輝く野菜が生まれるワケ

太平洋を一望できる大野台地では、地域おこしグループ・大野俱楽部がインストラクターとなり、農作物の収穫体験やトラクター試乗、酪農体験など、様々なメニューを用意。農業体験イベントをはじめ、大学生との交流実習や、小学校の課外授業などにもいかがでしょうか。

期間／10月～6月の土・日曜
人数／10名以上(10名以下の場合は要相談)
時間／要相談(体験メニューにより異なります)
料／要相談(体験メニューにより異なります)
問合せ／田野町まちづくり推進課 ☎0887-38-2813



藩政時代の雰囲気を今に伝えていきます

藩主が東部巡視の際、本陣として使用した岡御殿には、当時の貴重な品々が保存されています。それをもとに、スタッフが藩政時代のことや田野の歴史文化をレクチャーしてくれる体験メニューがあります。また衣装を羽織り、館内を回る「お殿様体験・お姫様体験」も実施しています。

お殿様・お姫様体験
料／大人用 1,000円 小学生・幼児用 500円
※衣装1着当たりの料金です。貸出時間は最長半日(午前または午後)です。
※入館料は別途必要です。

入館情報はP7に掲載しています。



岡御殿文化体験

田野駅から約600m



【田】野の【体】験

田野まちあるきガイド

(田野町ふれあいセンター)

田野駅から約300m



多くの偉人を生みだした田野町で、ゆかりの場所や興味深い史跡の数々、町の見どころなどを、田野案内人「賛」が解説しながら一緒に逛ってくれます。歴史を感じる町並み、ゆったりとした時の流れを感じながら、ガイドと一緒に散策することで、新しい魅力が発見できます。



期間／通常8:30～17:00 *1週間前までに要予約 人数／1名から 所要時間／1時間～2時間(応相談)
料／1名500円 団体(20名以上)の場合がガイド1名につき2,000円
駐／あり(町役場、ふれあいセンター) 問合せ／田野町教育委員会 ☎0887-38-2511

【田】野の【体】験

2つの太陽がつくりだすマジックタイム

高知県東部は、朝日と夕日の両方で「だるま太陽」が見られる全国でも貴重な場所です。田野新町海岸はだるま夕陽のスポットで、例年11月下旬から1月下旬、空気が澄み、水平線近くに雲がない状態で、運が良ければ見ることができます。しかも形が一番良いのは20秒程度。大自然のなかの神秘といわれるだるま夕陽を追い、カメラを手に田野の海岸へ出かけてみませんか。



期間／秋分の日～春分の日(県東部全体で)
場所／田野新町海岸をはじめ、東部各所
問合せ／田野町まちづくり推進課 ☎0887-38-2813

【田】野の【体】験

だるま夕陽撮影

田野駅から約1,100m



日本中から注文がくる塩職人。

太陽と風のチカラだけでつくられる「天日塩」。田野の海は、山の養分が奈半利川を経て、河口付近に蓄積されるため、ミネラルたっぷりの上質な塩が出来る条件が整っています。

「田野屋塩一郎」を営む佐藤さんは、海のそばの仕事・塩づくりに魅了され、東京都から移住。黒潮町で修行をし、独立。2009年に田野町で製塩施設を建てました。

粒の大きさをつくり分ける繊細な技術や、肉や魚など食材に合う塩づくりで全国の有名シェフからオーダーを受けています。また多くのマスメディアにも取り上げられ、その名前は全國に広がっています。



土佐田海岸
太陽結晶塩 塩二郎
人気があり、高知県内でも入手困難な天日塩。手間暇をかけた究極の一品は、食材の味を引き立てる。



高さ12mの檣。この上から海水を流しこむ。



寒冷紗(かんれいしゃ)と呼ばれる布。何度もこれをつたわせ、かん水(濃縮塩水)になっていく。

天日塩づくり体験にチャレンジ。

隣接する「田野町完全天日塩製塩体験施設」では、「田野屋塩二郎」と同じ製塩工程を見学・体験することができます。

田野案内人「賛」の地元ガイドが、田野の歴史や文化、森林鉄道などの話を交えながら、全国的に珍しい完全天日塩の体験工

程をご案内します。この施設が建つ土佐田海岸では、昔から釜で製塩をしていたという話をなどを聞きながら、塩の手触りを感じてみませんか。ご家族やお友達との天日塩づくりは田野の豊かな自然と歴史に触れることに。



期間／通年 人数／見学1名～20名 体験1名～10名
時間／9:00～16:00 (最終入館)
休／火曜(祝祭日の場合は翌日)、年末年始
料／見学400円・体験800円 駐／有
住／安芸郡田野町2703-6
問合せ／田野町完全天日塩製塩体験施設 ☎0887-38-2390
※見学・体験ともに事前申込みが必要です。



道の駅「田野駅屋」 人気のヒミツ。



田野駅屋 × ご当地グルメ

自家製の出汁でつくる、うどんやそばは、優しい味。

田野屋塙二郎の塩を使った塩アイスと田野中学校が生産したお茶のアイス。

店内でつくられるあげたてのすりみ天やいも天も大人気。

土佐ジローの卵を使ったすりみ丼は絶品。

和風の出汁の中でゆずが爽やかに香る「ゆず皮入り和風ラーメン」もおすすめ。



田野町の豊かな自然の中、生産者が丹念につくる「ここにしかないキラッと輝く」野菜たち。新鮮な魚の刺身や干物に、味自慢の惣菜やお弁当も揃っています。



店内に足を踏み入れると、その時期の旬の野菜や果物がお出迎え。奥には商品が所狭しと並ぶ直販コーナーや、豊富なメニューが自慢の軽食コーナーで「何にしよう」と楽しそうに迷っているお客様の姿が見えます。人情味溢れる女性スタッフに、商品を搬入しに来た地域の人たち。高知県東部の観光インフォメーション窓口を併設しています。

店内を彩る季節の野菜は、生産者の愛情がたっぷり詰まった安心安全なもので、お手頃な値段で手に入れます。そのほか、焼き鳥やいも天などのお惣菜、お寿司、お弁当、パン、アイスクリームなど、「ご当地グルメ」も充実。新しい商品が一日のうちに何度も入荷するのがポイントです。

軽食コーナーのメニューには、しっかりと出汁をとったうどんやそば、今イチオシのすりみ丼(土佐ジロー卵使用)など旅の小腹を満たすものが揃っています。ぜひ地元の食材を満喫してください。

土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線田野駅と隣接したこの施設は、集客や売上、お客さんの満足度などで「四国有数の道の駅」と評価されています。



**高知県東部の観光情報も
おまかせ！**

道の駅 田野駅屋
安芸郡田野町 1431-1
TEL&FAX 0887-38-7820
営/7:30~17:30(軽食10:30~15:30)
休/無休(年末年始を除く)
<http://www.tanoekiya.com/>

田野駅屋建物内にある情報発信コーナーも
お気軽にお利用ください。

高知県東部の観光拠点をめざし、「たの
へきいやー」。観光客を精一杯おもてなし
します。

高知県東部の様々な観光パンフレットや体験プログラムメニューなどの冊子を入手できるのが、田野駅屋内の「情報発信コーナー」です。周辺の市町村や観光協会、観光関連施設などからの最新情報やイベント情報が集まっています。

「県東部に来て頂いたお客様が、ここを拠点に観光をしてもらえ、地元の食やお土産、飲食コーナーで満足してもらえるようになります。それが、地域を元気にすることにつながっていけばと思いまます。」(田野駅屋駅長)

魚梁瀬森林鉄道ものがたり



日本遺産
ゆづりんてつ

田野町周辺市町村の見どころ

奈半利町

奈半利町海浜センター

5月から9月の間、初心者でもガイド付き・マリンレジャーの体験を実施中。シーカヤックで乗りながら海の中のサンゴを見ることができ、シュノーケリングでは幻想的な海中散策が楽しめます。



北川村

北川村「モネの庭」マルモッタン

フランス印象派の画家・クロード・モネが愛したジヴェルニーの庭園を、北川村の自然の中に再現した北川村「モネの庭」マルモッタン。花の庭、水の庭、光の庭と3つの庭があり、それぞれに美しい四季の風景を描いています。



北川村

中岡慎太郎館

中岡慎太郎の生涯と、その時代を再現した映像や様々な資料があり、幕末に思いを馳せることができます。また、復元された生家が隣接されており、こちらの見学も可能です。



安田町

神峯寺

四国靈場八十八カ所の27番札所で、真つ縦と呼ばれる急な山道を登った山上にあり、屈指の難所として知られています。境内には名水「神峯の水」が湧きだし、眼下には美しい太平洋の海原を望めます。



馬路村

魚梁瀬丸山公園

1周400mの軌道が設けられた魚梁瀬丸山公園は、修復された森林鉄道機関車の乗車体験と、説明と指導を受けながら自らが運転手となる運転体験ができます。



田野町にある2つの国指定重要文化財



立岡二号栈道

田野駅から約1,600m

昭和8年の建造。立岡分岐点から奈半利貯木場に向かう栈道で、石積高架とコンクリートガーダー橋でつくられています。森林鉄道を代表する遺構のひとつで、経済産業省の近代化産業遺産群にも認定されています。

場所／安芸郡田野町待井東



八幡山跨線橋

田野駅から約820m

昭和8年の建造。田野町の八幡神社の参道としてつくられた跨線橋で、鉄筋コンクリート造のガーダー橋。設計は八幡神社の氏子だった柳井三郎氏によるものといわれています。

場所／安芸郡田野町2851

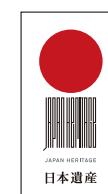
森林鉄道から日本一のゆずロードへ

—ゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化—

かつて西日本最大の森林鉄道が駆け巡った中芸地域は、林業に代わる産業としてゆず栽培に力を注ぎ、今や日本一の生産量を誇っています。木材を運んだ森林鉄道の軌道は、ゆず畠の風景が広がる「ゆずロード」に生まれ変わりました。

そして今もこの地域には森林鉄道の記憶を残す遺構が数多く現存しています。

明治44年の開通時に建造された橋梁や隧道など18箇所の貴重な土木建造物が国重要文化財に指定されました。その18箇所を含む遺構や食文化、歴史、伝統行事、風景など48の構成文化財とストーリーが、平成29年度日本遺産に認定されました。



立岡二号栈道を走る魚梁瀬森林鉄道(写真提供／高知市市民図書館)

貯木場や製材所、船積み場、人々が行きかい、賑わいがあった



森林鉄道は地域を結ぶ唯一の交通機関でもあつたため、木材のほか、生活物資文化、住民を乗せて走りました。ただし、乗車券には生命の保証はしないと記されています。時代とともに昭和38年に廃線。軌道などの撤去がおこなわれました。しかし、今も当時の面影を残す橋梁跡、隧道(トンネル)、軌道跡が点在しています。そのうち18箇所が国の重要文化財の指定を受けました。

田川線(奈半利川線)が開通し、太くて大きな丸太材が、毎日運ばれてきました。戦前、戦後は木材需要をうけて魚梁瀬、さらにおよそ千本山にあった樹齢数百年の巨木が次々と伐りだされ、林業は栄えます。

田川町には2つの路線が入っており、魚梁瀬森林鉄道によって運び込まれた木材が至る所に積み上げられ、貯木場や製材所、帆船へと積み込み、京阪神へと出荷していました。

銘木と名高い魚梁瀬杉を産出した高知

県東部、馬路村。全国屈指の林産地に、森林鉄道が開通したのは明治44年です。昭和初期までに、山と海岸を結ぶ2つの路線安田川線(奈半利川線)が開通し、太くて大きな丸太材が、毎日運ばれてきました。戦前、戦後は木材需要をうけて魚梁瀬、さらにおよそ千本山にあった樹齢数百年の巨木が次々と伐りだされ、林業は栄えます。



遠いようで、けっこう“近い”

高知県田野町までの交通アクセス

飛行機

東京・名古屋・大阪・福岡
高知龍馬空港からタクシー(約10分)で「のいち駅」
ごめん・なはり線「のいち駅」から列車で47分(快速)

JR（鉄道）

全国各地からJR「後免駅」へ
ごめん・なはり線「後免駅」から列車で約60分(快速)

高速バス

全国各地からJR「高知駅」へ
「高知駅」からごめん・なはり線に。列車で約70分(快速)



全国の皆さん

お車で気をつけてお越しください。

東京IC	約8時間35分
名古屋IC	約5時間15分
中国吹田IC	約3時間40分
広島IC	約3時間10分
岡山IC	約1時間45分
高松中央IC	約1時間20分
松山IC	約1時間35分
徳島IC	約2時間
福岡IC	約6時間20分



高知県内の車の移動

高知市から車で約80分 高知龍馬空港から車で約55分
安芸市から車で約20分 室戸市から車で約30分

大野台地の盆踊り

毎年8月14日に開催される地区主催のイベント。メインの「大野台地の盆踊り」は、田野町保護・無形民俗文化財に指定されています。歌い手や踊り手が少なくなってきたことから、その確保にも取り組んでいます。地域の人たちが焼きそばやかき氷など出店を運営し、地区の人たちや帰省中の人たちとの交流が行われています。



産業まつり

田野町の海・山・里・川でとれた特産物が大集結。農産物・鮮魚の即売や、各種団体の出店があり、ご当地の美味しいものが食べられます。またイベントとして、はしけん大会、闘鶏大会なども行われます。



田野町のイベントとまつり



田野町内外の人々が集い、笑顔と賑わいの時間と共に、伝統や行事が人々の心に誇りをもたらします。

撮影／公文正昭氏



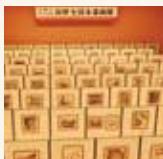
みんなの夏まつり

毎年8月15日に開催される田野町最大のイベントで、町民と地域外のお客さん、お盆休みで帰省中のひとなど、みんなで楽しむ夏祭りです。盛りだくさんのイベントがステージで行われ、出店も多く地元の食が堪能できます。



芸能祭・文化展

田野町文化協会主催。絵画、書道、工芸品、写真、大正琴、コーラスなど、町民の様々な取組みの集大成となる発表の場となっています。10月に芸能祭、11月に文化展が開催。



田野町全国水墨画展「空谷展」

町おこしの一環として取り組んでいる水墨画展。全国の水墨画愛好者から応募があり、その力作を公開しています。「空谷」はライオン宰相・濱口雄幸の雅号です。



たのイルミ

12月中旬から1月中旬頃にかけて、田野町で灯るイルミネーション「たのイルミ」。数万個のLEDで彩り、冬の最中に浮かび上がる光が幻想的。冬の風物詩として田野町から光を届けています。



田野町のイベント・祭りカレンダー

イベント名称	開催日
大野台地の盆踊り	8月14日
みんなの夏まつり	8月15日
芸能祭	10月中旬
文化展	11月下旬
産業まつり	11月23日
田野町全国水墨画展「空谷展」	12月初旬(1週間)
たのイルミ	12月中旬～1月中旬



高知県田野町

お問い合わせ
田野町まちづくり推進課
〒781-6410
高知県安芸郡田野町1828-5
TEL.0887-38-2813
FAX.0887-38-2044

<https://tancho.jp>

